

各 位

平成 15年 10月 16日

会 社 名 富士通コンポーネント株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小野 統造  
(コード番号 6719 東証第2部)  
問合せ先 常務取締役 望月 晴夫  
TEL (03) 5449 - 7000

当社の親会社 富士通株式会社  
代表者名 代表取締役社長 黒川 博昭  
(コード番号 6702 東証、大証、名証、各市場1部)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 15年 4月 25日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

### 記

#### 1. 16年 3月期連結中間業績予想数値の修正(平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年 9月 30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 15年 4月 25日 発表)	22,000	250	250
今回修正予想(B)	22,824	211	200
増減額(B-A)	824	△ 39	△ 50
増減率	3.7	△ 15.6	△ 20.0
前期(平成14年 9月中間期)実績	20,598	△ 3,917	△ 4,227

#### 2. 16年 3月期連結通期業績予想数値の修正(平成 15年 4月 1日 ~ 平成 16年 3月 31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 15年 4月 25日 発表)	45,000	650	600
今回修正予想(B)	45,800	650	600
増減額(B-A)	800	0	0
増減率	1.8	—	—
前期(平成15年 3月期)実績	42,571	△ 4,485	△ 5,360

#### 3. 16年 3月期中間業績予想数値の修正(平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年 9月 30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 15年 4月 25日 発表)	19,500	150	150
今回修正予想(B)	20,110	90	86
増減額(B-A)	610	△ 60	△ 64
増減率	3.1	△ 40.0	△ 42.7
前期(平成14年 9月中間期)実績	18,257	△ 1,922	△ 7,635

4. 16年3月期通期業績予想数値の修正(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成15年4月25日発表)	40,500	400	390
今回修正予想(B)	41,000	400	390
増減額(B-A)	500	0	0
増減率	1.2	—	—
前期(平成15年3月期)実績	37,916	△ 2,047	△ 7,761

5. 理 由

当社グループは、売上高の急速な回復が見込めないことを前提に、益転化の諸施策をグループ丸となって推進し、さらにグループ全体の意識改革を推進し生産性向上を図るとともに、安定的需要のある既存の製品をベースに、高付加価値の新製品を加え、より一層の利益拡大を図ってまいりました。

この結果、営業利益は当初予想を超える796百万円(当初予想600百万円)となる見込みであります。が、経常利益及び当期純利益につきましては、期末の急激な円高による為替差損203百万円の発生により、単独・連結業績予想の修正を行うものであります。

下期につきましては、為替及び価格競争の激化は予断を許さない厳しい状況にありますが、生産革新運動をはじめとした益転化の諸施策により、恒常的な黒字化が定着してきたことから、上記中間期為替差損をカバーし、通期の経常利益、当期純利益とも前回予想どおりの利益を予想しております。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上